

リメンバーin岡崎・11月4日

2010年12月、2012年1月と開催してきました「リメンバー名古屋in岡崎」を、今年度も11月4日(日)に行うことになりました。

今回で3回目となる「リメンバー名古屋in岡崎」を、11月4日(日)に行うことになりました。場所は、これまでと同じく、岡崎市「岡崎げんき館」です。

岡崎の方が行きやすい方もおられると思います。よろしければ、お越しいただければと思います。 ※地域自殺対策緊急強化基金事業

リメンバー名古屋自死遺族の会 in 岡崎

日時：2012年11月4日(日) 10:30-16:00

午前:10:30-12:00

「自死遺族支援を考えるワークショップ
～自死遺族に接する機会のある方へ、自死遺族の会からお伝えしたいこと」

対象：行政職、教育・心理等の援助専門職、葬祭業関係者、宗教関係者、一般市民の方

昼・ 図書コーナー(リメンバー文庫)を開設

午後:13:30-16:00(13:15～受付開始)

「自死遺族のわかちあい」

対象：自死遺族限定

普段の遺族会と同じ「わかちあい」を行います。

ご希望の方には個別面接も可能です(人数等によりご希望に添えない場合があります)。



岡崎げんき館

愛知県岡崎市若宮町2-1-1

◎電車バスでお越しの場合

名鉄「東岡崎駅」(北口)→名鉄バスで約12分→「岡崎げんき館前」東岡崎駅北口バスターミナル(2番のりば)から名鉄バスに乗車。10分から15分間隔でバスがあります。

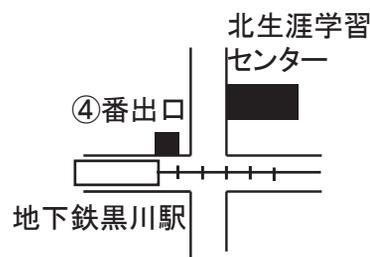
◎お車でお越しの場合

東名高速「岡崎インターチェンジ」下車、国道1号線を名古屋方面へ約5分

次回の遺族会

第54回

10月7日(日)13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は・・・

第55回 12月16日(日)
北生涯学習センターです。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)
090-8544-9408

託児サービスのご案内

当日、託児サービス(無料)を予定しています。ご希望の方は、11月1日(木)までに、ご連絡ください。

第16回秋の遠足のお知らせ-10月14日(日)

恒例の秋の遠足を以下のように行います。いつも遺族会でお会いする皆さまと、ゆっくりと過ごしませんか。

つらいことは忘れて・・・ということではなく、参加者の方同士、少しでも親しくなり、遺族会以外でも支えあえる関係になればとの思いから行っています。

遺族会に参加したことのある方ならどなたでもご参加になれます。

■日時:2012年10月14日(日)

午前10:20から17時ぐらい

■行先:魚太郎(バーベキュー)、美浜ナチュラル村 愛知県知多郡美浜町

*雨天時も実施します。

■集合場所:

名古屋駅(10:20)、または、名鉄知多半田(11:00)

現地へ直接行かれる方は、魚太郎(11:50)

※詳細はご参加の方にご連絡いたします。



12月16日遺族会終了後「望年会」を行います

12月16日遺族会終了後17時ごろから、毎年恒例の食事会を行います。リメンバー(憶えている)ということ大切にしている場ですので、「忘」という字を避け「望」年会としています。

遺族会に参加したことのある方ならどなたでもご参加になれます。12月9日までにお申し込みください。

■参加費:交通費(名鉄名古屋往復の場合:2,320円)、昼食(魚太郎浜焼きバーベキュー:3千円程度)

※食事内容、飲み物により変わります。

■申し込み先:リメンバー名古屋事務局(メール・ファックス・郵便等でお申し込み)

お名前(ニックネーム可)、

ご連絡先(メール、電話、FAXなど)

当日連絡できるものであれば助かります)をお知らせください。

Eメール:remember_nagoya@yahoo.co.jp

FAX:020-4668-8925(電話ではありません)

郵便:〒458-8799 緑郵便局留め リメンバー名古屋

■申し込み期限:10月8日(月)まで

■キャンセルについて:

お申し込み後、キャンセルの方は13日(土)までにご連絡ください。

次回「ディアレスト」のご案内

Dearest(ディアレスト)は、家族ではないけれども近い人を自死(自殺)で亡くした方の集い(自助グループ)です。2ヶ月に1回程度の間隔で、集いを開催しています。

日時:2012年11月25日(日) 13:30-16:00

場所:名古屋市中原生涯学習センター 3F 美術室
地下鉄東山線「本陣」駅4番出口より徒歩5分

参加費:500円

対象:家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死で亡くされた方

連絡先:the.dearest1@gmail.com

▪ <http://dearest.heya.jp>

※事前にご連絡頂けると助かりますが、当日直接会場にお越し頂いても結構です。

遺族面接相談のご案内

面接による自死遺族相談(無料)があります。

※電話による予約が必要です。

○愛知県精神保健福祉センター

毎月第3木曜日 午後2時-3時30分 予約 052-962-5377

○名古屋市精神保健福祉センターこころぼ

毎月第3火曜日 午前10時-12時 予約 052-483-2095

電話相談のご案内

電話による相談窓口です。自死遺族に限らない、幅広い窓口です。

○あいちこころほっとライン365

愛知県精神保健福祉センター

毎日 9:00~16:30 052-951-2881

○名古屋市こころの健康電話相談

名古屋市精神保健福祉センターこころぼ

月-金 12:45~16:45 052-483-2215

民間の電話相談

ONPO法人グリーフケア・サポーターズ(自死遺族向け相談)

火・木・土 10:00~18:00

03-3796-5453

○社団法人日本臨床心理士会(自死遺族向け相談)

毎週水曜日 19:00~21:00

03-3813-9970

水澤都加佐さん講演、シンポジウム — 10月13日(土)

2010年2月にリメンバー名古屋「自死遺族向け連続セミナー」の中でもお招きした水澤都加佐さんのご講演、シンポジウムが、名古屋にある別の自死の遺族会「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」の主催で、以下のように行われます。

第1部：水澤都加佐 先生 基調講演

13:30-15:10

悲しい気持ちは消えないけれど…

～自死遺族の悲しみと苦しみを理解する～

第2部：シンポジウム「周囲の反応にとまどったことはありませんか」

15:20-17:00

演者：水澤都加佐氏、西野敏夫氏（臨床心理士）、遺族スタッフ

日時：2012年10月13日（土）

13:30-17:00（開場：13:00）

場所：東桜会館 第二会議室

- 名古屋市東区東桜2-6-30

- 地下鉄東山線「新栄町」1番出口徒歩約5分

対象者：自死遺族当事者、

- 自死遺族支援に携わり理解を深めたい方

参加費：無料

- （愛知県地域自殺対策緊急強化基金事業）

問合せ：AICHI自死遺族支援室

- できるかぎり事前のお申込みをお願いします

- メール：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

- 電話：090-4447-1840

- （水・木 15:00-20:00、日 18:00-20:00）

- FAX：0561-52-3150 (FAX専用)

名古屋市主催「自死遺族支援セミナー」— 11月17日(土)

11月17日(土)に名古屋市主催で「自死遺族支援セミナー」が下記のように開催されます。

こちらは、当事者向けではなく、ご支援いただく方向けのものです。

第1部：基調講演

「自死遺族が直面する課題とその対処」

講師：清水新二さん

（奈良女子大学名誉教授）

第2部：パネルディスカッション

パネリスト、アドバイザー、座長

リメンバー名古屋自死遺族の会 代表幹事

こころの居場所AICHI 代表理事

いのちに向き合う宗教者の会 代表

清水新二さん、新畑敬子さん（名古屋市精神保健福祉センター所長）

日時：2012年11月17日（土）

13:30-16:30（開場：13:00）

場所：名古屋市高齢者就業支援センター

- 5階 大会議室

- 鶴舞線・桜通線 「御器所駅」

- ②番出入口東へ40m

対象者：自死遺族と接する機会のある方（葬祭・教育・宗教・医療・行政関係者等）及び、自死遺族支援に関心のある方

定員：180名（先着順）

参加費：無料

申込方法：参加申込書（名古屋市「自死遺族支援セミナー」のご案内の裏面）記入の上送付

FAX番号：052-951-3999

Eメール：

a2633@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

郵送：〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

健康福祉局障害企画課精神保健福祉係

申込期限：11月2日（金曜日）必着

※申込期限前でも、定員になり次第、締切

問合せ：名古屋市健康福祉局 障害福祉部 障害企画課 精神保健福祉係

電話番号：052-972-2283

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。

遺族会当日に、お茶の買い出し、参加者の案内など、継続的でなくても結構です。

詳しくはお問い合わせください。

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円 もしくは 80円切手13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円 もしくは 80円切手7枚

お申込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。

リメンバー文庫



リメンバー文庫では、遺族の方向けの書籍を集め、遺族会の時などに貸し出しを行っています。今回は、遺族のみなさんにお役にたてそうな本の数々を、分類してご紹介させていただきます。(A.S.)

小説からのアプローチ

『ムーンライトシャドウ』吉本ばなな 新潮文庫(『キッチン』収録)

手記からのアプローチ

『なぜ私だけが苦しむのか 現代のヨブ記』岩波現代文庫 H・S・クシュナー 著 斎藤武(訳)

『自殺者の遺族として生きる キリスト教的視点』新教出版社 G・ロイド・カー、グウェンドリン・C・カー 著 川越敏司(訳)

『あなたをひとりて逝かせたくなかった』いのちのこぼれ 社 アルバート・Y・ヒュー 著 佐藤知津子(訳)

『一度は有る事』中央公論社 上坂冬子

死生学的アプローチ

『新版 死とどう向き合うか』NHK出版 アルフォンス・デーケン 著

『臨床死生学研究叢書 死別の悲しみに寄り添う』聖学院大学出版会 平山正実 編著

哲学的アプローチ

『自殺について 他四篇』岩波文庫 ショウペンハウエル 著 斎藤信治(訳)

『「おのずから」と「みずから」—日本思想の基層』春秋社 竹内整一

社会学的アプローチ

『死と死別の社会学 社会理論からの接近』青弓社 澤井敦

『豊かさのなかの自殺』藤原書店 Ch・ボードロ、R・エスタブレ 著 山下雅之・都村聞人・石井素子(訳)

宗教学的アプローチ

『死を育てる』ナカニシヤ出版 秋田巖・金山由美 編

『日本人の死生観を読む 明治武士道から「おくりびと」へ』朝日選書855 島蘭進

りめんばー

先日、テレビであるドラマを見ていました。恋愛のドラマではあるのですが、最後には主人公の女性が病気で亡くなってしまいます。

死ぬ直前まで大きな肉体的苦しみもなく、暖かな日差しのそそぐリビングルームのソファに座り、家族のにぎやかな声を聞きながら、つかの間のうたた寝でもするかのように静かに亡くなっていったのでした。もちろん人生への名残、遺されるものへの切ない思いはあるでしょうが、あんな形で死ねたら幸せだろうと思わせる描き方でした。

しかし、遺された者には、やはりとても辛いものです。そのまま朽ち果ててしまいそうなくらい、気力を失い部屋の隅で一人泣く相手の男性の姿は、自分の姿とも重なり身にしました。遺される側にはどんな時も幸せ感はありません。遺されたものの分かち合い—遺族会はだからこそ必要なものなのでしょう。

もし死んだあとの世に、この世を去ったことの辛さを分かち合う会があったら、どんなことを語りあうだろうと想像したことがあります。人生への未練、悔い、遺していったものへの思い……。話すことは尽きないかもしれません。しかし、自死の場合は、死後の世界でも、他の人たちとは分かり合えない思いがあるように思います。自死の人だけの分かち合いで、初めて自分が自死であることを語る事ができた……ということもあるのではないかと想像してしまいます。

生きていくことは、死なれることでもあります。この先、どんどん大切な人を失っていくしかないのだと思うと辛くなります。昔「関白宣言」という歌で「俺より先に死んではいけない」と夫は妻に命令(懇願)しました。自分は大切な人に死なれたくはない、その人に見守られて死にたいというのは、究極の甘えでもあり、救いなのでしょう。自分自身もいつかは死ぬ側になります。それが苦しみなのか、救いなのかはわかりません。その時、遺される人がいるのかもわかりませんが、遺される悲しみを知ってしまった以上、もう「関白宣言」はできません。

もし、あの世があったとしても、今私たちに前世の記憶がないように、この世の記憶はないようにも思います。もう分かち合いなど必要なく、穏やかでいられるよう、そう願いたいと思うのです。自分自身も、そして何より、自分を遺していった者がもう苦しまなくて済むように。(KN)